

## 止まり木



大阪市立横堤中学校

## 生徒10カ条 その⑨

## 人を思いやる優しい心を持つ



今日の全校集会でアニメ「サザエさん」のお話をしました。もう少し詳しく紹介したいと思います。「サザエさん」は1946年、今から76年前に4コマ漫画として新聞に掲載されたのが始まりです。その後1969年、今から53年前にアニメ化されテレビでみんなが目にするようになりました。小さな子どもからお年寄りまで広い世代から愛される日本を代表するアニメの一つです。校長先生がこのアニメはすごいなあと思うのは見終わった後にいやな気持ちや腹立たしい気持ちに全くなならないということです。何かほっこりとした優しい気持ちになれることが多いです。それはきっと物語の中で汚い言葉や暴力的なシーンが全く出てこないことが理由の一つだと思います。

そんな中で3年前にたまたま見た放送でこんな話がありました。今日みんなに話したことです。普段あまり登場することのない早川さんのお話です。話はサザエさんとタラちゃんが道を歩いていると道を行ったり来たり何度もしながら何かを探しているお兄さんと出会います。そのお兄さんは宅配の仕事の中で早川さんの家を探していました。困っているお兄さんにタラちゃんが「僕が案内しますです。」とお兄さんを早川さんの家まで案内します。お兄さんに喜んでもらえ、うれしくなったタラちゃんは「次はどこですかあ？」と聞きますがお兄さんからは、「もう配達するものがないんだよ」と言われがっかりして悲しそうにしていました。その様子を見た早川さんが「タラちゃん、私を公園まで案内してくる？」といいます。

タラちゃんは「まかせてくださいです。」と胸を張って早川さんを公園まで案内します。



もちろん早川さんは公園までの道順を知っているのは言うまでもありません。そして最後のシーンでは公園でタラちゃんと遊んであげている早川さんの姿がありました。この瞬間、一緒に見ていた奥さんと同時に「ええ子やなあ〜」と言葉を漏らしていました。いまこの人に何と言ってあげれば喜ぶか、何をしてあげればうれしく思うか。みんなにもそんな気遣いができる人になってほしいと心から思います。実は、先週、3年生の授業を見に行った時に

ある生徒の優しさにあふれる行動を目にしました。それはある生徒が自分の席で課題をしているときに、隣の席からプリントが2枚、風に飛ばされて落ちてきました。落としたその席の生徒は、教卓のところで先生にノートを見てもらっていて、そのことに気づいていません。どうするかなあと思っていると、隣の席のその生徒は、すぐにプリントを拾ってあげていました。ここまでなら横堤中学校のみんななら当たり前でできることだと思います。しかしその生徒は、たぶんプリントに砂がついてざらざらしていたのか、その砂を払ってから机に戻し、さらに風で飛ばされないように筆箱が何かでプリントを抑えるところまでやってくれていました。本人はそんな大したことをやっているとは思っていないかと思いますが、校長先生は心の中で「優しいなあ」と心がほっこりしました。なんの見返りも求めず、優しくできる、そんな気持ちの人がもっともっと横堤中学校に広がっていくことを心から願っています。

なぜか・・・それは、

**人を気遣うことができれば必ず人から気遣われる(大切にされる)と信じているからです。**